

2021年4～7月

「私たちの母なる地球」

コロナ時代に人間と自然の関係をキリスト教の観点から見つめ直す



講師

パウラ・レイス・ゴメス

(上智大学非常勤講師)

講座の詳細、講師プロフィール等は裏面をご覧ください。

日程

5/13 5/27 6/10 6/24 7/1

木曜日14:00～15:30

学生は無料(学生証をご提示ください)

お申込はこちら

一般財団法人真生会館

〒160-0016 東京都新宿区信濃町33-4 (JR信濃町駅下車)

Tel (03)-3351-7121 Fax(03)-3358-9700

E-mail: gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp

URL: <http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>

申込書 2021年4～7月 私たちの母なる地球

お名前

住所 〒

電話番号/E-mail

記入日 年 月 日

講師はどんな方？

パウラ・レイス・ゴメスさん

ポルトガルのリスボン生まれ。
セルヴィ・エヴァンジェリー（宣教会）会員。
上智大学、外務省ではポルトガル語を指導。
1991年来日、2012年から真生会館のwakageおよび、カトリック東京教区青少年委員会のスタッフ。若者のための巡礼、勉強会などを開催し、将来の進む道に悩む若者達と共に、神様が用意してくれた道を祈りながら探す活動をしている。



こんな講座です！

コロナ禍の時代を生きている私たちは色々と考え直すことが多いかと思います。人間関係や家族、仕事や生き方など。その中で自然との関わりについて考えたりしませんか？外出自粛が要請される間、孤独や不安の中に陥りそうなとき、新鮮な緑を目に留めることによって心が落ち着いたり、些細な喜びを感じたり、勇気をもらったりしませんか？私たちは自然の一部だと新たに気付かされます。自然によって生かされていると。

教皇フランシスコが書いた環境問題についての回勅ラウダート・シが発表されてから5年経った今年、5月24日から一年「ラウダート・シ」を深める特別年に定められました。

教皇フランシスコの様々な発言や聖書箇所に導きを求めながら、私たちの体験を振り返って、母なる地球、私たちの「共通の家」との関わりについて謙虚に見つめ直したいと思います。

講座の様子や最新情報を公式Twitter、公式Facebookで紹介していますので、ぜひご覧ください。

公式Twitter @shinseikk

公式Facebook 「真生会館」で検索

このクラスは比較的少人数でアットホームな雰囲気です。途中からでも安心してご参加いただけますので、ぜひ一度おいでください。お待ち申し上げます。

